

第10期ちくし農業塾開講式



JA筑紫は、筑紫野市のJA物流センターで第10期ちくし農業塾開講式を開き、11カ月間に及び講義がスタートしました。

面接で選ばれた8名の塾生は、習得した知識や技術を生かし、JA直売所の出荷者や生産部会の一員となる販売農家を目指します。

式には、行政関係者やJA役職員など13名が参加。塾生は一人一人抱負を述べました。講師を務める室園正敏さんは「11カ月間の講義が終わった後に自分にとって有益になるよう積極的に学んでほしいです」と挨拶しました。

白水組合長は「講義や実習を通して経験を積み、その成果として栽培した野菜をゆめ畑などに出荷してほしいです」と塾生に激励を贈りました。

向佐野支店新装オープン



JA筑紫は7月6日向佐野支店オープン式を行いました。

当日は、JA理事や地元評議員、関係業者など20名が参加。テープカットを行い、新しい店舗で営業を始めました。

新店舗は、2019年12月から工事を開始。延床面積を旧店舗よりも約145平方メートル広げたことで、待ちあいロビーにゆとりができました。全てLED照明を使用するなど、環境に配慮した造りになっています。

また、6～17日までの2週間、オープンを記念して感謝キャンペーンを開催。期間中に対象の商品を契約した利用者に抽選で「博多和牛」などの豪華賞品が当たるスピードくじを行いました。

白水組合長は「今後も組合員や利用者に喜んでいただける支店になるよう役職員一同尽力していきます」と挨拶しました。

部会員の健康状態を確認



JA筑紫は、JA本店で7月10日、JA筑紫無人ヘリ防除作業部会の部会員を対象にJAが任意で行う特殊検査「農薬中毒検査」を行いました。体内に農薬が残留すると、人体へ影響を及ぼす可能性があります。部会員の血液に農薬の成分が残留していないか検査し、健康状態を確認。

営農生活部農産課の担当者は「部会員の健康に注意を払い、元気に活動してもらうため、今後も継続して行っていきます」と話しました。

夏芽アスパラ最盛期



ＪＡ筑紫アスパラガス部会は、筑紫野地区でアスパラガスのハウス巡回を行いました。

夏芽アスパラガスの最盛期を迎え、より高品質なアスパラガスの生産に取り組むために、栽培管理や病害虫の発生状況などを確認。部会員、福岡普及指導センター、ＪＡ農業振興課職員など１５名が参加し、互いの栽培方法などを熱心に情報交換しました。

参加した部会員は「終盤までしっかりと管理し、高品質なアスパラガスを出荷していきたいです」と意気込んでいました。

夏芽アスパラガスの生育ははおおむね順調。今後も病害虫防除の徹底を図り、収量４２ｔを目指します。

各地区の評議員に総代会報告



ＪＡ筑紫は７月１７日から３０日まで、管内６会場で、第４７回通常総代会で承認された内容を報告しました。６月２６日に開いた総代会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面議決を基本として開催。その報告としてＪＡ役職員が２０１９年度事業報告や２０年度活動計画等を説明。評議員１３４名が参加しました。白水組合長は「役職員一同、全力で組合員や利用者のお力添えをしていきます」と話しました。

山田支店新装オープン



ＪＡ筑紫は７月２０日に山田支店オープン式を行いました。

当日は、ＪＡ理事や地元評議員、関係業者など２３名が参加。テープカットを行い、新しい店舗で営業を始めました。

新店舗は、２０１９年９月から工事を開始。旧店舗よりも窓を増やし、木目調を基調とした温かいデザインにしたため、明るく開放的な空間を演出。また支店の外観は、支店名の頭文字「Ｙ」をモチーフにしたデザインになっています。

支店の入り口には、組合員の梅野春幸さんが制作した首里城の模型を展示。大きさは、横１ｍ２５ｃｍ、奥行き１ｍ１２ｃｍ、高さ７５ｃｍ。シンボルの龍の彫刻や建物の細部まで忠実に再現し、式の参加者やオープン初日に来店した利用者を魅了しました。